

授業科目 博物館研究演習 I	単位 2 単位
授業担当者 太田 心平	授業期間 前期
<p>授業の題目と概要</p> <p>題目は「文化人類学基礎講読」[Basic Reading in Anthropology] である。</p> <p>本授業の目的は、文化人類学を専攻する者に必要な基礎的な知識や思考方法を、受講生に身につけてもらうことである。個別の博物誌を読み込み、みずからも記述できるようになるため、その準備段階として、文化や社会を批判的に分析していく能力をみがく。</p>	
<p>授業の内容と計画</p> <p>現代の文化人類学であつかわれる 25 種類の代表的な主題について、それぞれの研究動向の概説を講読し、受講生と討議する。この講義で受講生が求められることは、(1) 英文による課題文を読み込んでくること、(2) 課題文の分担箇所について講義中に要約すること、(3) 教員の解説から課題文の行間を学ぶこと、(4) 討議に参加して知識と思考を表現することである。</p> <p>講読課題は、以下の書籍の第 2 部と第 3 部である。</p> <p>Ingold, Tim 2002 Companion Encyclopedia of Anthropology: Humanity, Culture and Social Life (2nd ed.), Routledge.</p>	
<p>使用する参考書、参考論文等</p> <p>綾部恒雄(編)『文化人類学 15 の理論』、1984 年、中央公論社。</p>	
<p>成績評価基準</p> <p>授業への寄与度合により評価する。分担した箇所の要約文は、各自が責任をもって該当授業に持参することを、単位認定の最低条件とする。</p>	
<p>その他の留意事項</p> <p>毎回あらかじめ指定した文献の内容について、いくつかの質問を与える。それらの質問に回答することを念頭に、課題文を読み込んでくること。各自が分担した箇所については、要約文を用意してくる。</p>	